

7月22日(金)
8月27日(土)
22日間限り!

おいしいお肉の向こうには... 入場無料! 展

香川大学の学術資料をよりわかりやすく!!
香川大学博物館



この企画展の開催期間
2011年
7月22日(金) 8月27日(土)
(8/12~18と日・月曜日はお休みです)
午前10時~午後4時

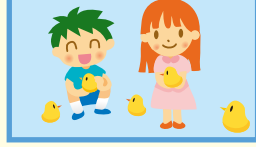


いろいろな種類のヒヨコがいるよ。

- ヒヨコを抱いてみよう。
 - エサやりをしてみよう。
 - ヒヨコを近くでじっくり観察しよう。
- 公開時間 時間限定!**
- ① 午前 10時30分~11時30分
 - ② 午後 2時~3時
- ※ヒヨコの健康状態等により、公開時間は多少変更する可能性があります。

自由研究 こも見どころ!
ヒヨコの成長(体の変化)を、毎日観察することもできます!

保護者の方へ
ヒヨコなど動物とのふれあいが子どもたちに笑顔をもたらすとともに、他者に対する共感能力や、社会性、責任感などを育む契機になると言われています。
動物介在活動(Animal Assisted Activity)などと呼ばれる活動です。



おいしい鶏肉・たまごを、みんなの食卓にとどけるために、農家の人たちは、どんな工夫・苦勞をしているのかな。大学では、どんな研究をしているのかなあ...



夏休みの自由研究にいかがですか!?
あんまり知らない「おいしいお肉・たまご」のウラがわをのぞいてみたい人、
全員集合!!

かしわ
※香川県では、鶏肉のことを「かしわ」と言います。

たまご

お得な見る+知る+ふれるがいっぱい!!



種類は?
大昔から人と共にくらす鶏。一そこには人に好かれ続ける歴史があります。

えさは?
何を食べているのでしょう。私たちの食べ物と何がちがうのでしょうか。

環境は?
快適にすごせる環境づくり。それは、鶏やたまごを美味しく育てる工夫の宝庫。

光と温度は?
鶏は光や温度にとっても敏感。とくにヒヨコは、体温調節が苦手です。

健康のためには?
病気が広がると大変…。健康に育てるために、たゆまぬ努力があるのです。

他にも、知って得する情報満載です!

公開講座

前期 日時 7月23日(土)・28日(木) 10:00~12:00

テーマ 「鶏を育てる」ということ

略説 鶏がどこからやって来て、どのようにヒトのくらしと関わるようになったのか? 遺伝・エサ・動物とのふれあいなどについて学びます。

後期 日時 8月26日(金) 10:00~12:00

テーマ 「鶏を食べる」ということ

略説 お肉屋さんでは、いろんな鶏肉が並んでるけど、何が違うんだろう。ブロイラーの味、地鶏の食感、肉の安全管理についても考えます。



場所 香川大学博物館・実習スペース・博物館前スペース

対象 小学3年生~6年生 ※先着順。前期・後期の両方に参加していただける方。

受講料 2,500円 申込・問合せ先 香川大学生涯学習教育研究センター Tel. 087(832)1273

20名様
※限定!

みんなの「知りたい!」大ぼしゅうコーナー
ぜひお越し下さい!!

香川大学博物館 企画展「おいしいお肉の向こうには...」では、来てくれたみなさんからの、鶏肉・たまごについての「知りたいこと」「ぎもん」をぼしゅうします。みんなが伝えてくれた「知りたいこと」「ぎもん」のこたえがもし見つからなければ、説明や資料をどんどんふやしていく予定です。みんなで博物館を「知りたいこと」「ぎもん」でいっぱいしましょう!



香川大学博物館

《住所》〒760-8521 高松市幸町1-1 《Tel/Fax》087(832)1300

《URL》http://www.museum.kagawa-u.ac.jp/ 《E-mail》museum@ao.kagawa-u.ac.jp